

教育事業名 「登山指導者養成塾」

★事業の概要★

事業のねらい

国立の施設が果たす役割として

- 1 登山の事故事例をもとにした事故防止の観点についての理解を深める機会を提供する。
- 2 集団登山指導に必要なスキルやリスクについて、安全管理の観点から理解を深める機会を提供する。
- 3 実際の登山活動をとおして、山での活動の指導上の留意点や安全管理上必要な事項について理解を深める機会を提供する。

期 日

平成25年6月22日（土）～ 6月23日（日）

会 場

国立大雪青少年交流の家

対 象 者

主に山での活動において、指導員やリーダー等、実際に指導に携わる者（教職員、社会教育関係者、青少年教育施設職員、子ども会育成者、それらを目指す者等（18歳以上））

参加者数：参加募集人数

22名（全日程参加18名、部分参加4名）：20名

講 師

内 藤 美佐雄 氏（北海道山岳連盟常任理事・美瑛山岳会理事長）
五十嵐 順 一 氏（美瑛山岳会）
前 田 晃 氏（大雪消防組合美瑛消防署 救急係長）
国立大雪青少年交流の家職員

日 程

	7:15	7:30	8:00	12:30	13:30	14:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:30	20:30	22:00	
6/22 (土)				受付	開講式	①講義	②講義・演習	休憩	つどい	夕食・休憩	③講義・演習	入浴・休憩			
6/23 (日)	つどい	朝食		④演習・実習(途中、昼食を含む) (交流の家～バス～十勝岳温泉～富良野岳～十勝岳温泉～バス～交流の家)				⑤協議	閉講式	解散					

★プログラム紹介★



講義「登山活動における

リスクマネジメント①」

登山の事故事例をもとに、事故防止の観点について学んだ。



講義・演習「登山活動における応急処置」

登山時に起こりうる怪我に対する応急手当等の対処方法について学んだ。



講義「登山活動における

リスクマネジメント②」

集団登山指導に必要なスキルやリスクについて、安全管理の観点から学んだ。



演習「登山活動における

リスクマネジメント②」

協同学習をととして、集団登山指導におけるリスクや対応策について活発な意見交流が交わされた。



演習・実習「登山活動の指導および安全管理の実際」

実際の活動をととして、山での活動の指導上の留意点や安全管理上必要な事項について学んだ。



協議「登山活動における

安全管理について」

全日程を踏まえて、特に山での体験活動の安全管理について意見交換を行った。

企画・運営のポイント

「新しい公共」型の施設運営に向けた試行年度であることを念頭に、民間をはじめ地域の教育力を意図的に取り入れたプログラムデザインとし、すぐに活用できる体験重視、参加者が主体的に学べる研修を提供した。

事業を終えて(成果と課題)

各指導者にとって、集団登山指導前の基本的な知識の習得、スキルの向上を図る研修となった。しかし、参加者の経験や年齢層が広いことから、全参加者のニーズに合ったプログラムを提供するための改善策が必要である。

今後の方向性

学校関係者や教育委員会とさらなる連携を深め、経験が浅い参加者や学校関係者をターゲットにした事業を構想する。